

平成 29 年度 第 4 回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議議事録

日時 : 平成 29 年 11 月 24 日(金) 14:05 ~ 14:50
場所 : あやべ協立診療所 3F 複合型サービスきょうりつ家族談話室
参加者: 綾部市 : 大島 けい子様
地域包括支援センター : 西野 知子様
利用者の家族代表 : 柴田 直美 様
複合型サービスきょうりつ
(管理者): 大槻 美智代
(計画作成担当者): 白波瀬 実
欠席者: 地域住民の代表 (民生委員): 安達 一男 様

1、報告事項

- ・ 10 月実績 : 延べ登録者数 26 名
短期利用 0 名
- ・ 平均介護度 : 2.77 (10 月時点)
- ・ 利用地域 : 青野、神宮寺、幸通、上野、宮代町、黒谷、小貝、広瀬、広小路、岡、物部、
中筋、大島、高津、田野、川糸、鍛冶屋、(綾中) () …新規
- ・ サービス別 延べ提供数
通い: 418 回 泊り: 181 回

訪問 (介護): 172 回 訪問 (看護): 37 回

全サービス提供回数 808 回 (一人あたり週平均サービス提供回数 6.4 回)

(前回 8 月の実績)

通い: 409 回 泊り: 194 回 訪問 (介護): 137 回 訪問 (看護): 35 回

全サービス提供回数 775 回 (一人あたり週平均サービス提供回数 5.8 回)

・ 利用状況…2 名中断 (1 名施設看取り、1 名入所)。新規利用者 0 名。11 月に入り、退院時の在宅支援として 105 歳の方の利用申し込みあり。

・ サービスごとの特徴

通いサービス…9~17 名と、日によって変動あり。

泊りサービス…3~4 名と少ない日もある。最大 8 名の利用あり。

訪問 (介護) …毎日 5~6 件の訪問あり。服薬の確認、食事の準備が多い。

訪問 (看護) …在宅日の服薬確認で体調が安定される方あり。臨時の訪問は減っている。毎日点滴処置必要な方ある。

ターミナルケア…胆道の炎症により、発熱あり体調悪化。ご本人の想いやご家族との話し合いで、入院はせず、複合型施設で必要な治療や介護支援を受けられることとなった。徐々に食事入らなくなられ体力低下。訪問診療で指示を受け点滴実施。遠方のご家族も施設へ入れ替わりで様子を見に来られる中、息を引き取られた。

2、課題等

職員接遇や対応について、綾部市介護相談員派遣事業活動実践報告にて。職員のご利用者対応・接遇についての指摘あり。事業所としての重大な問題として、早急に改善策を検討。職員チェックシートの活用や学習・研修計画作成を進めている。

登録者数 25 名ほどと、受入れ可能な状況。サービス提供回数の増加から、ゆったりとした時間を設けるのが難しい日もある。出来る範囲で季節が感じられる外出の機会や施設行事を行っている。

喀痰吸引が必要な方の利用あり。泊りサービス利用時に家族が泊り込みで対応していただくことでサービス提供ができた。

3、地域の状況、要望・助言

冬場の独居高齢者の火の始末が心配されることある。電気ファンヒーターの使用を奨めるが、使用が難しいこともある。石油ストーブの取扱が上手く出来ない状況も見られている。エアコンの設置を検討したいが、費用面での負担が大きい。

冬場の入浴時、ヒートショックに注意。部屋ごとに温度差がないよう配慮が必要。

地域によって、買い物に支援が必要なことある。スーパーマーケットの宅配サービスもあるが、注文方法が難しい場合もある。移動販売車は八田や上林地区はある。しかし、車まで行けないと変えない。コンビニでも宅配サービス開始する所が増えている。豆腐屋や魚屋が地域を周ることも少なくなっている。

外出にはフロンティア移送サービスの利用が多くなっている。シルバー人材センターの有料サービスも利用できる。

地域で助け合える環境づくりが進められている。地域資源の情報共有・活用、ボランティア育成等の課題がある。少子高齢化の時代、介護人材不足が申告な状況。元気な方を増やす取り組みも大切。

4、その他

1) 外部評価に向けて

(外部評価スケジュール)

11 月中に従業者自己評価実施 >12 月上旬に事業所自己評価(全体会議) 予定

>12 月中に運営推進会議構成員へ評価内容を送付 >1 月事業所自己評価の確認

>3 月公表用の内容確認

2) ひだまり 11 月 25 日(土) 9:30~実施予定。

笑いヨガ等の内容を検討。

○ 次回、運営推進会議日程 平成30年1月26日(金) 14時

以上